

第5回愛航研究会
講演

海軍の命令により
愛知航空機で

幻の人間爆弾「桜花43乙」
開発の実態!

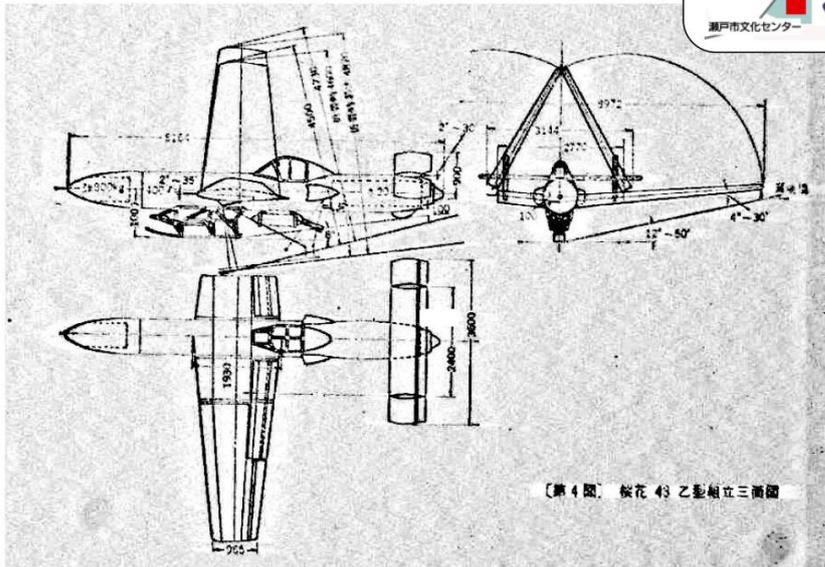
渡辺哲国氏

愛知航空機研究者 (瀬戸市在住)
瀬戸地下軍需工場跡を保存する会代表

日時 10月11日(土) 会場 瀬戸市文化センター12会議室

13:30~(16:00)

参加費 500円 必要経費を除いてユニセフに募金します。
定員24名 事前申し込みをお願いします!



【第4図】桜花43乙型組立三视图

瀬戸地下軍需工場跡を保存する会

申し込み
問い合わせは

<http://ob.aitai.ne.jp/~tera-m/index.htm>

自宅 0572-23-5899
寺脇 携帯 090-6575-4370
e-mail: tera-m@ob.aitai.ne.jp



会報

NO.188
2025年
9月20日

瀬戸市追分町64-1
瀬戸市職労組事務所
0561-84-4760
fax 84-4767
郵便振替口座番号
00820-9-105120

連絡先

事務局
寺脇
0572-23-5899
fax 同上
携帯

090-6575-4370

Eメール
tera-m@ob.aitai.ne.jp



2026年度
会費・カンパの
お願い!

本会は総会を持って
会計年度が替わります。
8月2日以降にいただ
いた会費・カンパは2006
年度会計に計上されま
す。同封の振込用紙でご
送金ください。よろしく
お願いします。

2026年9月15日現在	会員	156名	+	0	-	1
瀬戸市	片山保代さん	2000円				
	渡辺哲国さん	3370円				
	大島武彦さん	2000円				
	浅村和夫さん	2000円				
	梅野敏基さん	1000円				
	岡村浩子さん	1000円				
名古屋市	山田富久さん	5000円				
	森雅欣さん	1000円				
	丸田義博さん	1000円				
日進市	畠山佐白合さん	1000円				
岡崎市	成瀬昭彦さん	2000円				
長岡京市	福高美和子さん	3000円				

ありがとうございます
ごございました!
2026年度
会費およびカンパを頂いた方

戦後80年 夏のイベントご報告

あいち平和のための戦争展 2025

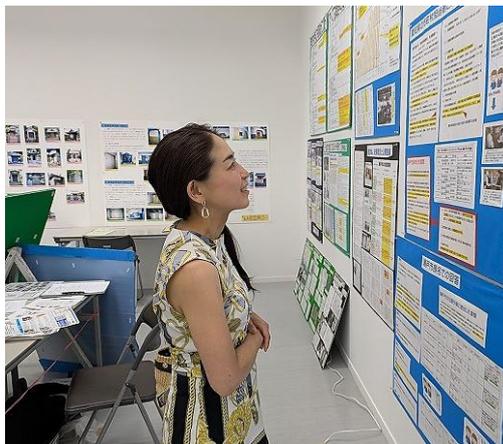
8月14日(木)～17日(日)の4日間、市民ギャラリー矢田で「あいち平和のための戦争展 2025」が開かれました。入場者数は1550名ほど、高校生の発表などもあり会場は終始、熱気に包まれていました。

保存する会の展示は昨年11月から取り組んでいる瀬戸市に対する質問状の回答や関連諸団体の戦跡保存に対する見解を中心に

行いました。また現在、取り組んでいる空襲死亡者名簿(関連記事5P)の入力作業を見ていただくためにスクリーンの設置も行いました。旧知の方だけでなく、関ヶ原火薬庫の保存運動に携わってみえる方などとも知り合いになれて大変、有意義な4日間でした。(寺脇)



関ヶ原火薬庫の保存に取り組む岐阜日中文化交流会会長の辛軍青さんと



ピースステージで講演された猿田佐世さんにも見ていただきました

第28回戦跡保存全国シンポジウム信州松本大会

第28回戦争遺跡保存全国シンポジウム信州松本大会が8月23日～25日の3日間、松本第一高等学校で開かれました。記念講演会では大串潤児さんが「戦後80年を生きる」—戦争に向かい合う心理と論理—と題して講演会が開かれました。2日目の分科会（第2分科会）ではドローン計測でレーザー探査で多くの戦跡を見つけた奄美大島瀬戸内町の報告（写真左下）やクラウドファンディングで得た資金をもとに行った模擬原爆パンプキンの破片分析など最先端技術での調査報告がありました。参加者は2日間でのべ約300名でした。3日目は駒ヶ根の登戸研究所疎開工場を見学しました。（寺脇）



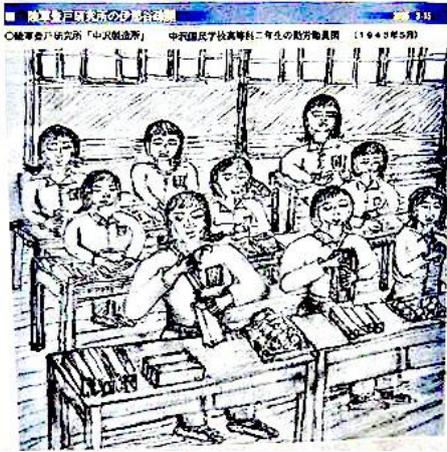
大会の会場になった松本第一高等学校。下は全体会のような様子。左上は2日目の第2分科会の会場。



8月5日瀬戸市平和委員会ならびに瀬戸の九条の会などが集めたカンパ229530円を大会に出席する聖霊高校生2名と先生方に贈呈し、座談会が開かれました。

原水爆禁止世界大会に参加する聖霊高校生に支援のカンパ

登戸研究所平和資料室



川崎市にあった登戸研究所は1945年3月駒ヶ根のお寺や学校に疎開工場を設置しました。現在資料室になっている中澤国民学校も第二工場として、本土決戦に向けて高等科2年生の女生徒が缶詰爆弾に火薬を詰める作業を8月まで行われました。この資料館は登戸研究所の全体像をたくさんの資料を丁寧に展示したあり、当時の日本の異常さを垣間見る思いでした。(寺脇)



資料室に使われている中澤国民学校校舎



左上は缶詰爆弾の模型。
左下は火薬の材料の白土。
上の写真は生物兵器を研究するために使用したる過機。



訃報 篠崎喜樹先生ご逝去

東海交流会の皆さま
いつもお世話になります、岐阜空襲を記録する会の中島です。
昨日、当会代表の篠崎喜樹先生が亡くなりました。しばらく前から心臓が弱っておりました。享年90歳でした。
先生は10歳(国民学校5年生)の時に岐阜空襲を体験し、高校教諭時代の1975年に岐阜空襲を記録する会を教諭仲間と共に立ち上げました。以来50年、岐阜の戦史記録と平和啓発活動が続けてみえました。たくさんの教え子さんに慕われた方でもあるので、教え子を代表して告別式では中島が弔辞で御礼を申し上げます。毎年12月の東海交流会には、近年は足を運べなくなりZoomになりましたが、毎年参加して皆さまと交友できるのを楽しみにしておりました。各地の皆さまの活動ぶりが、励みになっておりました。(中略)



2018年8月
岐阜市平和資料室で

篠崎先生は決して押しの強いタイプではなかったですが、地元役所・教育委員会・報道機関、すべてで信用のある人で、岐阜市立の「平和資料室」開設も実現に導きました。たぶん先生が「無私」の人だったからだと思います。先生の50年の蓄積をすべて教えていただくことは無理でしたが、先生の意思を受け継いで私たちも頑張りたいと思います。引き続きご指導いただければ幸いです。ありがとうございました。

岐阜空襲を記録する会 中島裕子

旧国家総動員関係死亡者名簿から判明した叔父の死

死亡した者の氏名	性別	生年月日	除籍時の本籍地	死亡当時の住所	死亡当時の学年	総動員業務協力関係				受傷り病の状況			死亡の状況		備考
						学校(協力)を離れた年月日	出動(協力)して作業した年月日	出動(協力)して作業した年月日	出動(協力)して作業した年月日	年月日	場所	原因	年月日	場所	
中島豊	男	昭和14年4月14日	愛知県新城市	全	昭和16年	昭和16年7月	昭和16年7月	昭和16年7月	昭和16年6月20日	昭和16年6月20日	愛知県熱田区船方変電所	空爆による	昭和16年6月20日	愛知県熱田区船方変電所	爆死
三浦鈴由	男	昭和14年11月	愛知県春日井市	全	昭和16年	昭和16年	昭和16年	昭和16年	昭和16年	昭和16年	愛知県熱田区船方変電所	空爆による	昭和16年6月20日	愛知県熱田区船方変電所	爆死
権野朝三	男	昭和14年8月1日	愛知県豊田県	全	昭和16年	昭和16年	昭和16年	昭和16年	昭和16年	昭和16年	愛知県熱田区船方変電所	空爆による	昭和16年6月20日	愛知県熱田区船方変電所	爆死

別紙第三(その三)

受傷り病の状況			死亡の状況			備考
年月日	場所	原因	年月日	場所		
昭和16年6月20日	愛知県熱田区船方変電所	空爆による	昭和16年6月20日	愛知県熱田区船方変電所	爆死	



あいち平和のための戦争展で名古屋市瑞穂区在住の伊神豊二さん(写真)が空襲死亡者名簿より叔父さん(中島豊さん=当時16歳)の名前を見つけられ、空襲による死亡経緯を80年ぶりに判明されました。叔父さんにあたる中島ゆたかさんは、名簿によると当時の明倫中学校(現明和高校)の4年で19年4月より名古屋市交通局西町工場に学徒動員で勤務しており、市電の乗務員か西町工場に勤務していました。6月9日の愛知時計・愛知航空機に対する空爆で爆死されますが、名簿を見ると受傷地が熱田区船方変電所とあり、受傷地と死亡地が同じ場所であるので、即死状態であると思われます。(寺脇)

作業場所の名称及び所在地	作業の種類	出動人員
名古屋市交通局西町工場	市電車輛修理	自昭和19年7月 日 至昭和20年9月30日 日 250人
名古屋市熱田区西町	変電所	自 年 月 日 至 年 月 日 人
	各車庫の乗務員	自 年 月 日 至 年 月 日 人

当時市電に四新全員が配置され、所以各車庫にて乗務員としていたが、通学不便の者は勤務時間に差支への為熱田区西町工場に(約40名)勤務させられた。



当時の名古屋市の市電路線図

報告 大規模な地下壕の新発見

総会で講演していただいた山田富久さんは、今年2月、岐阜県各務ヶ原市大安寺地区において全長400m以上にも達する大規模な地下壕を発見されました。

この地下壕は奈良県香芝市にある通称「屯鶴峯地下壕（どんずるぼう）」との関連が指摘されているが経緯については現在なお不明です。

なお、屯鶴峯地下壕は東西二つの壕があり全長は1km、文書や現地の証言によれば、東壕は、1945年6月以降に陸軍（航空総軍第19地下施設隊（帥19502部隊））によって掘られました。本土決戦の一環として、航空総軍司令部が予定された陸軍大正飛行場（現在の八尾空港）との関連があるとのこと。

大安寺の地下壕も東の西の壕があり、その間の鞍部で山田さんはビール瓶や陸軍の飯椀等を発見されています。

各務ヶ原は飛行場もあり、屯鶴峯地下壕同様本土決戦に向けて施設であった可能性があり、今後の調査が待たれます。

中部産業遺産研究会・会報99号に詳しい報告書があります。

寺脇



右の壕の反対側にあたる陥没溝



東の壕は各務ヶ原市によって封鎖されている



内部にはコンクリートの部分が2か所ほどある。



崩落が激しいところがあり危険



削岩機用ロッド

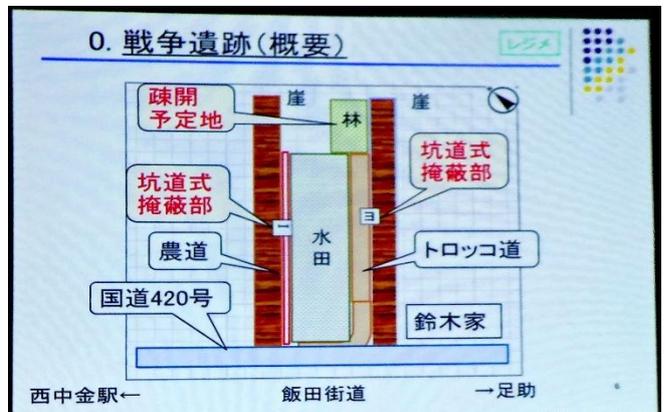
戦後80年、発足35年私たちの新しい一歩



8月2日(土)文化センター12会議室において「保存する会」の第34回総会が24名の傘下の元行われしました。今回の総会では会長並びに顧問の交代という大きな出来事があり、戦後80年、保存する会35年の歴史の新しい一歩となる総会をなりました。新体制となり事務局員一同、新しい気持ちでがんばりますので今後とも皆様の温かいご支援とご教授を賜りたく存じます。事務局長 寺脇

総会記念講演会

豊田製鋼(現愛知製鋼)疎開工場の再発見



総会に先立ち記念講演会を濃尾・各務原地名文化研究会事務局長の山田富久さんに「豊田製鋼(現愛知製鋼)疎開工場の再発見」と題して講演をしていただきました。山田さんは長らく愛知製鋼にお勤めで定年退職後、社史にあった疎開工場に注目されており、足しげく現地を足で運ばれて土砂に埋もれていた疎開工場を再発見されました。講演会では膨大な資料に基づき、当時の日本の戦時体制や製鋼技術にまで言及されたのは圧巻でした。寺脇

第34回 瀬戸地下軍需工場跡を保存する会
総会要項

(会場) 瀬戸市文化センター 12会議室

(日程)

13時30分 開会のことば

司 会 野田茂生

13時35分

総会記念講演会
進行 寺脇正治

「豊田製鋼(現愛知製鋼)疎開工場の再発見」

濃尾・各務原地名文化研究会事務局長

山田富久さん

15時00分

総会

1、あいさつ

2、本年度の活動報告

3、会計報告

4、監査報告

5、次年度の活動方針

6、事務局人事

7、質疑・応答・承認

8、事務局あいさつ

9、閉会のことば

16時00分 終了予定

司 会 野田茂生

事務局長 加藤 徹

寺脇正治 栄木房子

事務局長 加藤 徹

事務局 寺脇正治

事務局 加藤 徹

事務局 寺脇正治

事務局 加藤 徹

事務局 寺脇正治

事務局 加藤 徹

1、本年度の活動報告

(24年8月～25年7月)

1) 証言・資料の調査、記録する活動

・4月21日 二上山どんずる峯 西壕調査

参加・山田、寺脇

- ・23年12月 名古屋空襲被害者名簿(国家総動員令による動員学徒・徴用)エクセル入力作業・寺脇
- ・6月25日 愛知大学で空襲被害者名簿入力作業の依頼・寺脇

2) 市民・県民に向けた広報活動
2024年

- ・8月1日 東海テレビ取材 ↓16日放映
- 「ニュースワン大谷ジャーナル」で地下工場跡地紹介
- ・8月11日 第33回瀬戸地下軍需工場跡を保存する会総会 参加 23名、事務局・加藤徹、熊谷、野田、芝田、大橋、寺脇
- 総会講演会 講演者 西田敦さん「奈良の銃後―隠された空襲―」
- ・8月15日～18日 あいち平和のための戦争展 事務局 寺脇、梅野、芝田、大橋
- ・10月10日 パルティセと交流フェスタ 展示参加
- ・10月19日 聖霊中高生土曜セミナーで地下工場見学 生徒4名、保護者4名、事務局・芝田、大橋、寺脇
- ・1月25日 現地見学会 水野地域交流センター 25名参加 事務局・梅野、加藤徹、芝田、寺脇
- ・4月16日 愛知大学戦後80年企画講演会「保存する会の35年」報告・寺脇
- ・5月24日 戦争体験を語り継ぐ会第2回「米軍資料から見る熱田空襲」各務ヶ原郷土史家 福手一義さん

文化センター12会議室 参加者24名

- ・6月21日 事務局・寺脇、加藤徹
- 聖霊中高 土曜セミナーで現地見学 生徒5名、保護者4名、教員3名 事務局・寺脇
- ・ホームページ 閲覧数 28437 (7月24日現在) (1年間でアクセス約1300)

3) 戦争遺跡等の見学会、他団体と交流、全国に紹介する活動
2024年

- ・8月17日～19日 戦争遺跡保存全国シンポジウム第27回北九州やはた大会(九州国際大学)参加・寺脇
- ・12月8日 戦災・空襲記録づくり第40回東海交流会、参加・寺脇
- 空襲・戦災を記録する会全国連絡協議会誌「空襲通信」に交流会内容を報告 寺脇
- 2025年
- ・3月30日 春の戦跡見学会 関ヶ原戦跡見学会 参加者24名 事務局、加藤徹、熊谷、野田、大橋、寺脇
- ・4月29日 豊田市戦争展16名が瀬戸市内戦跡見学 案内・寺脇

4) 地下軍需工場跡地を保存・整備する活動
2024年

- ・10月6日 現地倒木除去作業 参加・加藤徹、加藤敏晴、芝田、寺脇
- ・12月14日 現地整備作業 参加・梅野、加藤徹、熊谷、野田、芝田、大橋、寺脇

5) 組織活動(会報の発行)
 ・会報を5回(NO183) NO187) 発行

6) 瀬戸市及び諸機関に対する要請

・10月15日 愛知県県民文化局文化財部文化芸術課文化財室長あてに地下工場跡地保存と戦争遺跡調査の経過内容の報告のお願い文を提出
 参加…梅野、加藤徹、寺脇

・10月24日瀬戸市シティプロモーション課へ質問文と証言集を提出。参加…梅野、寺脇
 瀬戸市地域振興部文化課課長 瀬戸市美術館館長 川原千佐栄さんに質問文を提出

・11月7日 質問状に対する瀬戸市長名の回答を得る。
 2025年

・1月 教育委員会教育長、瀬教組組合長、瀬戸市教職員労組執行委員長、瀬戸市小中学校社会科研究会 長あてに市長名での回答に対しての見解を尋ねる書類を郵送

回答 教育長、市教労委員長、瀬社研会長
 ・4月22日 瀬戸市議会議員に質問状配布依頼
 頼… 参加 梅野、寺脇
 回答 市議26名中3名

7) 保存する会の運営・会員の拡大
 ・事務局会議を毎月第2水曜日(8月以外)開催。会員数は、7月26日現在 157名。

2、会計報告 ならびに監査報告

2025年度 瀬戸地下軍需工場跡を保存する会会計報告

1、収支合計

収入	支出	差引残高
515,968	218,434	297,534

2、収入内訳

内 容	金 額
前年度繰越金	232,810
その他(資料・講師謝礼・見学会残金など)	39,158
年会費およびカンパ	196,900
証言集売上	47,100

3、支出内訳

内 容	金 額
郵 送 料 会報(183号~187号)・書籍郵送等	130,064
印 刷 通 信 費 (コピー紙、封筒、会報印刷代など)	40,694
材 料 費 (模型材料費、展示パネル制作など)	6,982
会 合 費 (公民館借用費、謝礼など)	22,050
参 加 費 (戦争展分担金など)	10,252
調 査 資 料 費 (資料、書籍、見学会補助など)	5,014
維 持 管 理 費 (遺跡保存管理費)	1,278
雑 費 (駐車場代、振込手数料など)	2,100

以上の通り報告します。残金は次年度に繰り越します。

2025年 7月 26日 瀬戸地下軍需工場跡を保存する会

会 計 寺 脇 正 治

会 計 監 査 栄 木 房 子

3、次年度の活動方針(25年8月～26年7月)

1) 証言・資料を調査、記録する活動

・ 地下軍需工場に関する新たな証言や資料、瀬戸地域の戦争体験談、戦時下の市民のくらしや産業・職場の状況などの写真や記録、地域に残っている遺跡などを調査する。

2) 市民・県民に向けた広報活動

① あいち平和のための戦争展(8月14日～17日 市民ギャラリー矢田)に参加する。

② ピースフェスティバル「瀬戸に協賛すると共に「戦争体験を語り継ぐ会」に参加する。
③ 地域宣伝に努力する。また、地域の活動・イベントに参加し「地下軍需工場跡を史跡に！」の理解を広める。

④ 瀬戸地下軍需工場跡を見学する会を開催する。(26年1月) 現地見学会

⑤ 瀬戸市生涯学習市民講師として学校や他団体の要請に応じ講演講習ならびに資料を貸し出しを行う

⑥ 地下軍需工場跡地散策遊歩道マップ・看板等が公共機関に設置できるよう働きかける。

⑦ 瀬戸市民活動センターの登録団体として市民との交流を図る。(交流フェスタ参加10月?日(土))

⑧ インターネットホームページ等デジタル

コンテンツを活用する。
ホームページ

<http://ob.aikai.ne.jp/~tera-m/index.htm>
2001年8月開設

フェイスブック(2012年4月開設)

いづれも「瀬戸地下」で検索

メール tera-m@ob.aikai.ne.jp

3) 戦争遺跡等の見学会、他団体と交流、全国に紹介する活動

① 戦争遺跡保存全国ネットワークに参加する。

② 第28回戦争遺跡保存全国シンポジウム
松本大会参加予定

8月23日(土) 全体会、24日(日) 分科会、
25日(月) 現地見学会

③ 空襲・戦災を記録する会全国連絡会議に参加する。

④ 戦災・空襲記録づくり東海交流会に参加する。(12月14日(日)) ピースあいち

⑤ 戦争遺跡等の見学会を26年3月末日曜日に開催する。

4) 地下軍需工場跡地を保存・整備する活動

・ 地下軍需工場跡地の整備(入口などを巡る散策道 草刈、案内表示板の設置等)を行う。

5) 組織活動(会報の発行・会員の拡大)

① 会の取り組み・証言・会員からのたよりを会員に伝えるため、会報を年5回程度発行する。

(皆様からの御意見・情報・証言をお待ちしております。)

② 会の活動費・会報の郵送料にするため、会費を徴集する。(1年1口1000円)

※振込用紙で送金される場合は、振込手数料をお願いします。

③ 会員を拡大を図る。
(7月26日現在 157名)

6) 瀬戸市・県・国への要請

・ 地下軍需工場跡地一帯が保存され「平和への散歩道」を実現させるため、瀬戸市・県・国に要請する。

・ 「水野の里郷土館(仮称)づくり」
歴史と自然の宝庫「水野の里」の素晴らしさを伝えるとともに、平和を考える資料館づくりをめざす。

7) 保存する会の運営

・ 事務局会議を毎月(8月以外) 1回開催。
毎月第2水曜日午後5時30分より、市職労組合事務所で。

8)

年間活動計画

(2025年8月～2026年7月)

月	行事名		
8	34回総会(8/2) あいち平和のための戦争展(8/14～17)		
9			事務局会
10	パーティセと交流会(10/?) 聖霊中高現地見学会(10/?)	会報188号発行	事務局会
11			事務局会
12	第39回 空襲・戦災記録づくり東海交流会(12/14) 現地整備		事務局会
1	現地見学会 ならびに 学習会 (1/?) 戦争体験を語り継ぐ会実行委員会	会報189号発行	事務局会
2	春の見学会下見 戦争体験を語り継ぐ会実行委員会		事務局会
3	春の戦跡見学会(?) あいち平和のための戦争展実行委員会・戦争体験を語り継ぐ会実行委員会	会報190号発行	事務局会
4	あいち平和のための戦争展実行委員会・戦争体験を語り継ぐ会実行委員会		事務局会
5	あいち平和のための戦争展実行委員会・戦争体験を語り継ぐ会実行委員会	会報191号発行	事務局会
6	あいち平和のための戦争展実行委員会・戦争体験を語り継ぐ会実行委員会		事務局会
7	あいち平和のための戦争展実行委員会・戦争体験を語り継ぐ会実行委員会	会報162号発行	事務局会

9) 事務局体制

質疑・応答・承認

事務局員 紹介・あいさつ



欠席
広報・渉外
芝田政春
榮木房子
会計監査

資料・調査	顧問	資料・調査	顧問	広報・渉外	広報・渉外	代表	資料・調査	広報・渉外	資料・調査
羽根田正之	櫻村愛子	熊谷達也	大塚英二	加藤敏晴	大橋正博	渡辺哲国	野田茂生	加藤 徹	寺脇正治
事務局長(会報・会計)									

新代表あいさつ

渡辺哲国



私はヒコークミ野郎でして、サミエル・ウルマンの詩「青春」にあるように歳に拘ることなく、自分の好きなことをやろうと思っています。

妻は数年前に旅立ち、お独り様・やもめのジョナサン暮らしです。

一番に気になるのは認知症です。時々、認知症の会合に参加し、話を聞いています。地域交流センターにも行き情報を得ています。

ボケ防止活動としてRCグライダーやヨットを楽しんでいます。現在、ヒコークミを27機、ヨットを5隻を所有しています。

愛知航空機との出会いは、そもそも愛知航空機なんていう会社には興味がなかったんですが、縁は異なるもの味なもので学生時代は学連航空部のグライダー訓練合宿によく参加していました。

その費用を稼ぐために叔母の経営する旅館（名古屋市）で書生もどきアルバイトをやり稼いでいました。

そこで書生を4年間やりました。番犬の秋田犬の世話から電球の交換などいろいろ頼まれてやっていました。

その旅館に日産から愛知機械に派遣された田専務が滞在しており、就職はどうするんだという話になって、エンジン志望なら愛知機械を紹介できるが、ということであら愛知機械に入社しました。

アツタ発動機との出会いは、カムデン航空博物館というのがオーストラリアにあつて、友達がここに展示してある飛燕のハの40というエンジンがどうもおかしいぞ、アツタ（エンジン）じゃないのかと言つてきて、いろいろ調べたのが愛知航空機との付き合いの始めです。

そのエンジンを調べるために愛知航空機のOB会に入りまして、そこから資料を集めて、さらに私の親友が愛知航空機の技術部試作設計部の課長だった尾崎紀男（おざきとしお）氏の次男で「親父を紹介しろ」ということで、そこからも資料を集めて世界で私が一番、愛知航空機の資料を集めたと思います。

晴嵐との出会いは、友達が「スミソニア」で晴嵐をやっているの、なんとかしろ」という話があつて、それで晴嵐の修復を10年ぐらい、現地に3、4回行って、現地のスタッフをいろいろ助けたり、助けられたりしてやっています。お金がないのを彼ら現地のスタッフは知っているの、だいたい居候です。日本ではホームステイと言つてますが、あちらではホームゲストと呼んでいます。仕事が朝、6時から昼の15時までなので、朝4時に起きて朝食をとつて6時から仕事をして3時に終わる。3

時に終わるとまだ明るいでラジコンのグライダーを友人に教えたりしていました。スミソニアの修復作業は2000年に終わったが、2001年に記念式典をやるので来いと言われて行く準備をしていたら9・11にテロがあつて、それは中止になりました。

戦後50年ということで、動員学徒とか特攻隊とかいろんな人が手記を出すというので会社に来たり、愛知時計に来たりするとたいいてい、私のところに回つてくるのでこれを支援していました。そんなことをやっていたら友達から航空ジャーナリスト協会に入れと言われて、そこに入って、「航空ファン」とか「丸」とかいろいろ寄稿しました。

今回、寺脇さんから頼まれて代表をやつてくれと言われたけれど、私は飛行機バカですから飛行機のことしかわからないし、あとはあまり興味が無いし強くありません。だけど事務局長がしっかりしているから大丈夫だと思います。

敗戦後80年ですが、特攻なんていうのはどっちみち非人間的ですが、愛知航空機で海軍の命令で計画した「桜花43乙」というのがあります、これについては詳しく調べてDVDも出しましたが、当時昼夜兼行で設計してましたが、海軍にはその設計能力がないので、構想だけ伝えてあとは全部「愛知（航空機）」でやれということであら岐阜県の垂水の小学校の校舎などを利用して疎開をして、設計をやっているうち

に敗戦になりました。その時の工場長が2、30年前まで生きていて話を聞く予定でしたが、知り合ってすぐ亡くなってしまいました。それで「開発」までの調べたんですが「生産準備」までは詳しく分からない状態です。10月11日(土)に愛航研(愛知航空機研究会)でこの「桜花43乙」の開発から生産準備までの勉強会をやるうと思っております。

少しは世のため、人のためになると思いは趣味でいろいろ寄付をしております、晴嵐所有のシミソニアン博物館NASM、九龍艦爆所有のPlane of Fame航空博物館に110万円寄付しました。現在はユニセフに寄付を実行中です。

この会にもパソコンとプロジェクトを寄贈しました。

以上であいさつを終わります。よろしくお願ひします。

新顧問あいさつ

大塚英二



第34回瀬戸地下軍需工場

定年から4年たちますが、それまでは大学の中で仕事をし、地域のことをあまり関わっていませんでした。定

年後いろいろなところに関わっていて、この会も誘われて入りました。文化財の指定に向けた運動ということでは、微力ながら力になれたらと思っております。ちょうど私は瀬戸市の文化財保護審議会の委員をしておりますので、文化財の指定というのは結構難しいのですが、なんらかの橋渡しはできるのかなと思えます。県の方は登録文化財という方法がありまして、今まで国しか登録文化財をやっていなかったのですが、数年前から県でも登録文化財制度ができました。瀬戸市の方にも県から登録文化財の候補があるかどうか問合せが来ていると思うのですが、この遺跡について市は何も言わなかったと思えます。しかし、市が候補として積極的に報告し調査ができるようになるればよいと考えています。そういうことを少し図ってみようかなというような心づもりをしております。また、県の文化財保護審議会では同僚だった上川通夫さんがいま委員をやっていますので、そちらからいろいろ伝えて県の方に話をつけられないかなとも考えています。よろしくお願ひします。

新顧問あいさつ

榎村愛子

豊橋市にある愛知大学文学部の社会学部教員の榎村と申します。私自身は10年前



の2015年あたりから、戦争と平和教育の研究を始めました。戦争社会学研究会という学際的研究会がありますが、これをコーディネートしているのは社会学者で、戦争の問題は、やはり社会全体の問題として、社会学は大きく関わると感じています。私自身は社会学と共に心理学、精神分析が専門ですが、戦争によるトラウマは80年たっても消えない大きな力を持っています。私の義母は広島島の被爆者で夫は被爆2世ですが、自分の両親からも、やはりどこかで戦争の記憶を引き継いでいるかと思えます。また沖繩の戦争体験の継承活動のNPOもやっています。

2015年のときは、学生と社会調査実習で豊橋中心で戦争体験継承活動の調査をまとめましたが、今回2025年は戦後80年で、さらに愛知へと広げて調査しています。寺脇さんにはいろいろと関係者を紹介していただけて助かっています。

この会は本当に活発で豊かな活動をされていくと思っています。私がお役にたつことがあるかどうかわかりませんが、大学の定年までもあと3年ほどあるので、お手伝いできることがあればと思っています。よろしくお願ひします。以上

写真で観る晴嵐 28号機修復の全貌

第21話

愛知航空機研究者・渡辺哲国

「イ-400型潜水艦開発&作戦経緯 1/2」

631空と第6艦隊第1潜水隊

昭和19年12月、イ-400型潜水艦の1号艦・イ-400が竣工し、第6艦隊第1潜水隊が呉に結成された。同時に、横須賀航空隊内に631航空隊が結成され、飛行訓練が開始されたが、充分な晴嵐は供給されず、水上偵察機・瑞雲などが使われた。その後、631航空隊は呉に近い福山航空隊に移動し、晴嵐での飛行訓練に励んだ。

真珠湾攻撃から3年、ミッドウェイ海戦（昭和17年6月）での大敗を契機に守勢一方となった日本軍は、フィリピン戦から組織的な特別攻撃・特攻を採用し、起死回生を図ろうとしたが、効果は無く、昭和20年4月の沖縄線で特攻機の底が尽き始め、本土決戦用に温存を始めた。

6月に入ると、第1潜水隊の4隻の潜水艦（イ-400、401、13、14）に631航空隊の10機の晴嵐と要員が収容され、B-29の爆撃を避

け日本海の七尾湾に移動し、合同訓練が開始された。軍令部は戦局の変化によりパナマ運河攻撃は諦め、ルシー環礁を根拠地とする米機動部隊攻撃に目標を変更し、嵐作戦を計画した。嵐作戦に先行し、ウルより現実的な攻撃目標として、西カロリン諸島のウシー泊地の敵機動部隊を偵察するため、7月中旬、光作戦が発令され、イ-13、イ-14潜水艦に各々2機の艦上偵察機・彩雲を搭載し大湊港からトラック島に向かった。しかし、イ-13は途中で撃沈され、イ-14のみが8月4日にトラック島にたどりつき、2機の彩雲が陸揚げされた。

「光」及び「嵐」作戦終了後の予定

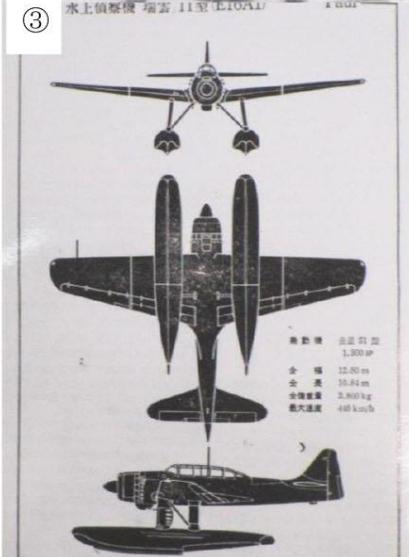
①631空は晴嵐10機を香港又は、シンガポールに空輸の準備（9月末までに空輸）

②潜水艦は作戦終了後香港に寄港し晴嵐及び搭乗員を補充し、シンガポールに回航し次期作戦（第二次嵐作戦）に備える

次号へつづく



④ 艦上偵察機・彩雲



⑤ タミヤプラモ・特型潜水艦
イ-400



⑥ タミヤプラモ・
M6A1 晴嵐

②③ 水上偵察機・瑞雲

①イ-400型潜水艦開発&作戦経緯要約1/2

by T.Watanabe

参考文献：佐藤次男著「幻の潜水空母」

年月	内容
S16/12	12/08 真珠湾奇襲、太平洋戦争開戦
S17/01	* 山本長官の米本土東海岸大都市爆撃構想――潜水空母構想の検討と推進を下命 01/13 軍令部から艦政本部（片山有樹技術少将）へ打診。 航空魚雷、または800Kg爆弾1個を 搭載する攻撃機を積んで、4万哩航行可能な潜水艦の開発は可能か
S17/02	艦政本部（潜水艦関係）、航空本部（攻撃機関係）にて基礎研究と開発に着手
S17/03	設計基礎案完成、海軍省、軍令部に提示
S17/04	04/27 軍令部より艦政本部、航空本部に潜水艦、攻撃機に関する主要要求性能提示、 潜水空母建造計画スタート。 04/28 艦政本部 技術会議分科会開催し開発着手
S17/05	05/17 技術会議開催し潜水艦の設計概案を決定 戦備考査部会議にて正式決定、海軍大臣の承認を受け、訓令が出された。
S17/06	06/05 ミッドウェイ海戦 06/20,21 連合艦隊司令部 ミッドウェイ後の軍備計画 模索 06/30 改第五次軍事計画 イ-400潜水艦18隻、攻撃機（晴嵐）78機
S18/01	01/18 イ-400 呉工廠で起工
S18/04	04/18 山本五十六長官戦死 04/26 イ-401 佐世保工廠にて起工
S18/05	イ-400型潜水艦半減計画 18→10隻（その後5隻） イ-13, 14改造計画（晴嵐2機搭載）
S18/09	イ-403起工
S18/10	イ-402起工
S19/01	01/18 イ-400 進水
S19/02	イ-404起工
S19/03	03/11 イ-401 進水
S19/06	06/19 マリアナ沖海戦
S19/07	
S19/10	10/24 レイテ沖海戦
S19/12	12/15 631空 鹿島空内に開隊、開設準備、訓練、は横空水上機班にて実施 訓練機は瑞雲、零小水偵、 晴嵐飛行実験 12/30 イ-400竣工（呉）。呉鎮守府籍となり、第6艦隊第1潜水隊に編入。艦長日下敏夫中佐着任 瀬戸内海西部にて訓練に従事
S20/01	01/08 イ-401竣工（佐世保）。呉鎮守府籍となり、第6艦隊第1潜水隊旗艦となる。 司令有泉龍之介大佐、艦長南部伸清少佐着任 01/08 イ-401佐世保出港、内海西部、佐伯湾？にて訓練 第1潜水隊 イ-400,401,13 集合し基礎訓練開始、故障、不具合は呉にて修理 潜水艦固有の訓練は艦長、乗組員とも経験者多く順調に推移 631空 呉空に移動 晴嵐5機、瑞雲6機
S20/02	631空 岩国空？に移動
S20/03	03/05 631空 屋代島和佐海岸に基地を設ける。 晴嵐10機 03/19 イ-401呉にて米艦載機の攻撃を受けるも被害なし 03/27,30 B-29 瀬戸内海西部海域に磁気機雷、水圧機雷など1000個を落下傘投下、敷設

みなさまからのメッセージ とインフォメーション

ありがとうございました！

寺脇様

昨日は、講演の機会を与えていただき、ありがとうございました。

パワポの準備過程で、学ぶことが多く大変勉強になりました。

講演としては盛り込み過ぎで、ご迷惑をかけました。

退職して1年振りにあった会社の後輩は、さほど親しかったわけでもないのに、武豊から来てくれて感激しました。

詳しい感想文なので、お知らせします。

僕の意図した部分（疎開・本土決戦）は伝わったかな、と喜んでおります。山田

Nさんの感想

『本日のご講演「豊田製鋼(現愛知製鋼)疎開工場の再発見」

大変参考になりました。どうもありがとうございました。

疎開工場の話より、そのバックグラウンド（疎開、本土決戦等々）の話のほうが参考になりました。また、CBCのニュースはよくまとまっており、わかりやすかったです。』

後略

山田富久さん

わたしの伯父は19歳。1945年5月23日

鹿児島鹿屋基地から沖縄方面へ特攻す

Y・K

敗戦後80年が経ちました。わたしの父親3兄弟は全て予科練に志願し、特攻隊員を目指して、猛訓練に耐えました。わたしの父親は1945年3月の戦艦大和の沖縄特攻に志願し

残念ながら、最終段階で「選ばれず」、その事で戦後一生涯死んでいった仲間達に「申し訳ない」と言う思いを背負い込んで65歳の生涯を終えました。わたし自身60歳の還暦の年

父親たち3兄弟が「何故」死を「志願」したのか、その思いを少しでも「解る」事を目指し

伯父が特攻に飛び立った、同日・同時刻・同じ鹿屋基地周辺に立って、「献杯」を捧げました。

長年考え続けてきた「テーマ」でしたが、遂に「理解」する事は叶わず、わたしのできる事は、この世界から「戦の火を失くすこと」だと改めて決意しました。世間には特攻を美化する傾向が少なからずありますが、人間の「命」は「鴻毛より軽し」と教育された結果、アジアで2000万、日本人300万強、被爆者は数十万、本年も4000人強被爆後80年も「苦しみ」抜いた人生を送り、亡くなりました。わたしは「草木国土悉皆有仏」を大切にしています。

編集後記



まだまだ暑い日が続きますが、皆様いかがおすごしでしょうか？私、不覚にも脳梗塞を患い1週間、人生初の入院生活を送りました。幸いにも軽度で済み、日常生活にはあまり支障はありませんが、それでもPCのキーボード操作など普段にもましてミスが多く苦勞しております。

皆様もお体にはくれぐれもご注意ください。

2025年9月15日 (T)

寄贈していただきました



浅川地下壕の保存をすすめる会の中田均さんから「浅川地下壕」と名古屋市の丸田義博さんからは「名古屋空襲を語る」を贈呈していただきました。ありがとうございました。